

富山県内で小型船舶救急連絡システムの説明及びデモンストレーションを実施

北陸総合通信局では、小型船舶救急連絡システムの普及促進に向け、平成22年2月1日から2月8日にわたって、富山県内5カ所において小型船舶救急連絡システムの説明及びデモンストレーションを実施しました。

この説明及びデモは、富山県漁業協同組合連合会及び船員災害防止協会北陸信越支部伏木地区支部が主催する「平成21年度船員災害・海難防止講習会」において、小木漁業無線局及び太洋無線株式会社の協力を得て実施したものであり、講習会には漁業経営者やその乗組員等の方々が5会場合計で約300名参加されました。

各会場ではシステム説明用のDVDを上映後、小型発信器、船舶局側設備及び海岸局側設備によるデモを行い、参加された方は本システムの有効性に強い関心を持たれていました。

北陸総合通信局では、今後も機会を捉えて説明を実施する等、引き続き同システムの普及促進に取り組んでいくこととしています。

【実施日、会場】

実施日	会場
平成22年2月1日(月)	新湊漁業協同組合(射水市八幡町)
平成22年2月2日(火)	黒部市コミュニティセンター(黒部市生地中区)
平成22年2月3日(水)	とやま市漁業協同組合 四方漁民センター(富山市四方港町)
平成22年2月5日(金)	魚津漁業協同組合(魚津市漁港定坊割)
平成22年2月8日(月)	氷見漁業協同組合(氷見市比美町)

(注) 小型船舶救急連絡システム：船員の海中転落時に、船員の身につけた小型発信器からの電波を船舶に設置している無線設備を介して、非常事態の発生を自動的に海岸局へ通報するシステム



【とやま市漁協会場の模様】



【氷見漁協会場の模様】

連絡先：無線通信部航空海上課
(担当：藤牧、坂戸)
電話：076-233-4450